

## 任期制隊員ライフプラン集合訓練を開催 「将来の自分を描くための備え」

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 兼本貞祐）は、5月23日から6月12日までの間、各2日間の日程で4回にわたり、久里浜駐屯地及び座間駐屯地において「令和元年度任期制隊員ライフプラン集合訓練」を実施した。

本訓練は、神奈川県内の部隊等に在籍する入隊後1年以上経過した任期制隊員に対し、明確な自己分析に基づいた自らの人生設計を確立させるとともに、職業選択及び資格修得等の自助努力を促進させることを目的として実施したもので、57名が参加した。

参加した任期制隊員は、陸曹を目指す者や任期満了後の進路に悩んでいる者など様々であったが、一様に自分の将来について考える良い機会と捉え、真剣なまなざしで訓練に臨んでいた。

特に、部外講師によるキャリア開発プランの講義においては、仕事をするとときに最も大切にしている価値観の視覚化や職業に対する潜在的な興味や関心についてワークシートを用いて確認することで、自らの適性を再認識したり、新たな一面を発見して驚いている隊員などの姿も見られた。

また、社会保障に関する講義においては、貯蓄や生命保険の重要性や退職後民間企業に就職すると自衛官在職中と比べて支出が増加することなど金銭面における現実的な話を聞き、将来を見据えたライフプランを作成することの大切さを改めて認識している様子であった。

参加した隊員からは、「これからの人生を考えるうえで、とても参考になる教育だった」などの感想が聞かれた。

神奈川地本は、「2年という短い任期の中で重大な選択を行わなければならない任期制隊員のため、今後もできる限りのサポートをしていきたい」としている。



講義を受ける任期制隊員

## 護衛艦「あまぎり」体験航海に海上自衛隊受験者が参加

神奈川地本厚木募集案内所（所長 野田3海佐）は6月9日（日）、海上自衛隊受験者たちが参加した護衛艦「あまぎり」体験航海を支援した。

この日の体験航海は、「マリノフェスタ2019 in 船橋」の会場である千葉県船橋市のサッポロビール千葉工場南側岸壁を出港し、神奈川県横須賀市にある海上自衛隊船越基地まで、東京湾内を約3時間で航海する計画で実施された。

会場では、千葉県内に所在する陸海空自衛隊の各部隊による装備品展示が行われており、参加者たちは出港するまでの間、普段はあまり目にするこくない装備品をじっくりと見学していた。

あいにくの曇り空だったが、大勢の来場者たちに盛大に見送られて、参加者を乗せた護衛艦「あまぎり」は出港した。参加者たちは、出港時の乗組員たちの整齊とした作業の様子に見入り、しきりに感心していた様子であった。航海中も艦橋や甲板で勤務している乗組員たちに「船の中ではゆっくり眠れますか?」「お風呂は海水を使用するのですか?」「勤務は何時間交代ですか?」など、積極的に質問をし、海上自衛隊の勤務に興味津々の様子であった。

また、乗組員による「らっっぱ」の吹奏展示や手旗信号の展示説明が行われ、参加者たちは洋上で楽しい時間を過ごし、「あまぎり」は無事に目的地である船越基地に入港した。

海上自衛隊を受験している参加者からは、「艦艇で勤務する海上自衛官の方の様子を目の当たりにして、憧れが更に強くなりました。今日は良い機会をいただきありがとうございます」と嬉しい言葉を聞くことができた。

厚木募集案内所は、「今後も体験航海などの機会を通じて自衛隊員の訓練や生活の様子を直に見て知ってもらうことで、一人でも多くの入隊者を獲得できるよう募集活動に励んでいきたい」としている。



多くの来場者に見送られ出港する参加者たち（護衛艦「あまぎり」）



体験航海参加者たち  
（サッポロビール千葉工場南側岸壁）